

2回目の周辺区説明会でいただいた主なご意見やご質問とその回答（1回目にいただいたご意見等と重複しているものは省略しています）

1. 候補地の選定について

NO	日付	主な質問	回答
1	2/5	地域との関わりなど一切関係なしに一方的に決定されている。事前に地域に対して話があればよいが、泰山寺区が手をあげ、自然災害を含めて問題ないからということで決められているが、場所は泰山寺区かもしれないが、土地所有者は違う地域の人を持っているところである。やはり納得できない。	周辺地域の皆さんにいち早くお知らせしなければならないことは考えた。泰山寺区から話をいただいたのが8月上旬であり、その後、泰山寺区が集会をされ、正式に合意いただいた。その後、地権者の方々にも内諾いただき、9月28日に公表させていただいた。すぐに周辺7地域の方々についてはお知らせしなければならないので、翌日に周辺7地域の各区長のところへ出向き、それぞれ候補地を選定させていただいた旨、説明させていただいた。
2	2/5	泰山寺から提案がなかったらどうされるつもりであったのか。	これから調査して探していこうという段階にあった。そこで断層や水害のリスク、今の土地利用の状況も踏まえながら、探していく中で、泰山寺区から提案をいただいた。
3	2/5	本当にベストな場所は、高島市の中で泰山寺しかないのか。それをまず示してほしい。地震とか洪水とか重要な項目の中に地域住民の総意は入ってこないのか。	断層とかそういった技術的な部分は建設検討委員会で議論いただいて、市民の方々、周辺地域の住民の方々の意見と懸念については、具体的な部分をお聞かせいただき、お諮りをさせてもらいたい、それに対して意見を聞かせていただき、解消させていただきたい。
4	2/5	いろいろな理由からあわただしく決めているような印象を受ける。住民側からとしてはあまりにも唐突すぎる。 泰山寺区以外のところの検討し、ベストの地域を探して、それでもないということであれば、考え方も変わるが、やはり唐突である。	（ご意見）

2. 今後の進め方について

5	1/28	近隣住民の理解と言われるが、理解の判断はどうか。説明会を何回もしたということで理解となるのか。	反対意見が多い所もある。どのような部分に懸念があるか、どういうご心配があるかをお聞かせいただき、どのように対応できるかを検討の上、説明しながら理解を求めていきたい。
---	------	---	--

### 3. 排水について

6	2/5	<p>排水は外に出さずに施設内で浄化して、それを冷却水として使うということである。排ガスを冷却した後、結局、煙突から排出される。</p> <p>排水を浄化しても、それは排ガスとして出すということである。排水として流さなくても空気として外に出ていくわけである。</p>	<p>一旦浄化をして綺麗な水を排ガスの冷却に使うので、浄化した水が水蒸気となって出ていくという意味である。</p> <p>排ガスについては、常時測定をして、自主規制値以内でコントロールしていく。その中には水蒸気も当然含まれているということである。</p>
---	-----	---	---

### 4. 地震(活断層)リスクについて

7	2/12	<p>泰山寺と他の場所は、防災面でどう違うのか。</p>	<p>防災については地震、水害等があるかと思うが、前回、朽木宮前坊地先を選定させていただいたが、水害の部分で議会から否決という結果を頂戴した。2回目の公募をさせていただいたが、そのときは現在地も含めて、3ヶ所から応募いただいた。平ヶ崎地域では断層帯の直上に位置する。現在地についても断層からも直近のところであり、そのあたりを地震専門家に意見を聞いた中で、建設検討委員会では、それらを踏まえて、リスクがぬぐいきれないという観点で、答申をいただき、断念したという経緯がある。今回、泰山寺については、河川から離れているので水害の恐れが小さい、地震の断層についても約1km離れているという状況から、建設検討委員会に諮り、そこで概ね相対的に安全という判断をいただき、市としても決定させていただいたのが経緯である。</p>
---	------	------------------------------	---

8	2/12	<p>断層から 1km 離れた絶対に揺れても大丈夫という、建物が安全と言えるのか。データで出してもらえることはできるのか。安全というのであれば、署名、捺印して、私が保証しますというデータを提出してくれたらよい。</p>	<p>地震の揺れに対する対策ということで、今の建築基準法、それから国の施設で言われている建築基準法よりも割増を用いて耐震設計を行うので、基本的に大地震、これは震度 6 強から 7 の地震を想定しているが、その大地震の後でも施設に大規模な補修をすることなく施設が使用できるという基準に基づいて、設計させていただく。</p> <p>保証というのはいけない。地震の揺れなども踏まえて、相対的に判断させていただいたということである。当然、地震で揺れて、全国的にも震度 7 の地震が起これば、大きな地震であり、建物が一部損壊等も起こり得る。しかし断層が直下にある場合については、破断をする恐れがあるということである。</p>
---	------	---	---

5. 議会へのご意見やご質問について (高島市新ごみ処理施設建設特別委員会が回答)

9	1/28	<p>ごみ処理施設の問題に対して、議会も特別委員会を設置すると聞いた。その話を聞いた時に、議会も後がないということで、会派を越えて進めていくと思い、期待していた。特別委員会の動きはわれわれ市民にはわからない。建設的な議論ができていないのではないかと考えている。そこが一番心配である。</p>	<p>特別委員会は決める場ではなく、市が進められることをチェックしていく場となっている。今までの、宮前坊区の時も水害リスクで議会はゴーサインを出さなかった。水害リスクについて予め議論ができていたのか、決まったことを議会に出されるのではなく、検討委員会で議論されていることがどのようなことであるか等、市の執行部の進め方が適正であるかを確認するところが特別委員会の場所である。事業費は 100 億円を超える、法律に則り、自治体で処理していかなければならないことも理解している。必要性、重要性、色んな考え方はある。</p>
10	1/28	<p>議会での執行部と市議会のやり取りは見てきた。特別委員会は会派を越えた、大人な議論をする場所だと思う。委員長もそのような方向性で委員会を進めていただきたい。他の議員も含め、他の議員とも気概を合わせて進めていただきたい。それが委員長の役割だと思う。</p> <p>高島市のことを本当に考えているなら、伊賀市がなぜ受け入れてくれているか、その根底から考えるべきではないか。</p>	<p>特別委員会は、そこで何かを審議して決める場所ではない。いろいろ物事を進めていく過程で、担当部局から説明を受けて、その内容についてより深く議論する場になっている。議会というものも、いくつかのグループにわかれている。議会も 18 人いるが、何人かのグループがあって、その代表が集まって、特別委員会を構成している。そのグループごとで、より細かく、身内だけでいろんな議論をして、これはどうなんだろうというのを、特別委員会で全体の意見として合わせていくために、より深く考えていくための仕組みである。</p>

		<p>議会は行政のチェック機能だということを言ったが、もう5年もこのようなことを繰り返している。市民からすると、どうか整理してもらいたい。みんなで同じ方向を向いて進めていくために特別委員会が作られたと思うので、受け止めていただきたい。</p>	<p>いろんな方が、いろんな思いもあり、そういったことはどんどん上げていただいて、それに対しては大丈夫であるということをしかりと示し、その積み重ねによって、市民が喜んでもらえるように進めていきたい。特別委員会としては、中身のある本質の議論を重ねていけるよう約束させていただく。</p>
11	1/28	<p>特別委員会で検討した結果を統一見解として、示していくということはないのか。</p>	<p>仕組み上、執行部から、例えば計画の説明を受ける、それに対してこれはどうなのかというやり取りで、その結果を踏まえて、計画自体を見直していくという形になってくる。</p>

## 6. その他

12	1/28	<p>例えば、東日本大震災のような大地震があり、福井県の原発が故障して、放射能事故が発生した場合、その廃棄物(産廃)をここに持ってきて、処分することはないか。</p>	<p>市で設置する施設は一般廃棄物を処理する施設なので、産業廃棄物は処理しない。市内で発生したごみを処理するのが責務である。原則他地域のごみを受け入れることは考えていない。</p>
13	2/5	<p>説明は全体的にダイオキシン類とか調べていただいて、安全基準が設けられていて、安心できるような説明であると思う。ただ原点に帰ると、区としては反対である。今こういう段階でこの民意に対して、反対ということを含んでいただいて、どうすればこの計画が中止になるか、または移転できる方法があるかということを知りたい。</p>	<p>市としてはなんとしてでも整備させていただきたいという中で、具体的に意見なり、要望を頂戴している中で、今の段階でわかる部分で答えさせていただいているところである。具体的なプランはまだであり、皆さんにお示しをすることができない。そのような部分をしっかりとお示しをさせてもらって、説明させていただきたい。皆さんにどのような懸念があるかを聞かせていただいている部分も、今の段階ではお示しをしていない部分があり、今後詳しく説明させていただく。</p>
14	2/5	<p>反対した市民の意見を受け、聞いてもらえる、そういう窓口がないのか。議員に相談もあると思うが、行政が市民に対して、両方の市民の意見、声を聞いてもらうところが、あってしかるべきなのではないか。</p>	<p>市の考え方を言わせていただくと、この場がそのような場である。皆さんにわかる範囲の部分をお示しさせてもらって、それに対して意見を頂戴しているので、忌憚ない意見を頂戴したいと思う。</p>
15	2/5	<p>ごみ処理施設ができるようになったときに、自分の子どもが帰ってくる理由がなくなってくると思う。今後、区内の人口は減っているのわかっているが、極端に減るのではないか。一番懸念してるのは、そこである。</p>	<p>子供たちが帰ってこないという部分が、将来どうなるのか、子供たち、次の世代に対するご懸念は、いろんな地域からいただいているが、どの辺りに懸念を持っておられるのかということも市の方で議論している。環境面なのか景観が阻害されるという部分なのか聞かせていただきたい。</p>

16	2/5	<p>東日本大震災で国が管理する世界で最も安全な施設が、絶対に何も起こらないと言いながら、失敗している。安全神話というのは崩れている。リスクマネジメントをどうするかではなく、クライシスマネジメントである。</p> <p>高島市が、それより高いレベルでできると思えない。信頼信用ができない。私達ができることは自分らの健康と住んでいる将来のある子供たちの健康を守るためにどこかに造ってほしいというのがみんなの思いである。</p>	(ご意見)
17	2/5	<p>工事車両のことや安全対策が何も示されていない。</p>	<p>工事車両の通行であるが、収集車の通行だけではなくて工事期間中の車両の通行についても生活環境影響調査の中で、十分調査をして、シミュレーションした上で皆さんに説明をさせていただいて、必要な対策を講じてまいりたいと考えている。現時点ではっきりしたことは言えないということで、申し訳ないと思っているが、しっかり調査をした上で説明をさせていただくということである。</p>
18	2/5	<p>過去にダイオキシンの隠蔽をしていた。厳しいこと言うが、前の経緯がある。信用できるかと言ったら、申し訳ないが、マイナスからスタートである。</p>	<p>そこはもう指摘いただいている通りである。我々もそれを糧に、そんな状況が起きないように肝に銘じてしなければならないと捉えている。</p>
19	2/12	<p>アンケート結果では、反対が多い。他の地域でも反対が多い。市はどう受け止めてもらっているのか。我々も市民、説明資料には「快適な」と書いてあるが、快適でない。我々は安心安全な生活がしたい。</p> <p>市長は「不退転の決意」と言われて、我々の意見を聞かずに勝手に進めていると感じる。ダイオキシン類は大丈夫と言われたが、健康な人ばかりではない。毎日降りかかってくることである。市民の意見を反映すると言われるが、こちらの立場になって考えてほしい。</p>	<p>反対のアンケート結果については、施設を整備して、20年間なり30年間稼働していくということで、皆さん方の理解というのは不可欠だと考えている。皆さんがどういう感情を抱いておられるのか、どの部分に懸念を持っておられるのかということをお聞かせいただき、それが解消できるのかどうか考えなければならないことだと思っている。</p> <p>市長が「不退転の決意」と申しているのは、令和11年度が伊賀市との約束の期限ということで令和11年度に向けて、しっかり計画的にすることであり、皆さんの意見を受け止めないという部分では決してない。今の段階で全てどういう計画になるのかということはお示しができない状況である。施設整備基本計画、生活環境影響調査を実施させていただき、その中で具体的な部分が明確になれば、その段階で皆さんにお</p>

			<p>諮りをさせていただいて、意見をいただきながら、懸念があれば、どのように解消していくかということも踏まえながら取り組ませていただきたい。</p>
20	2/12	<p>山の上、高いところに建てるわけである。煙突も高い。よりたくさん煙(水蒸気)が遠くまで届くことになると思うが、単純にどこまで届くのか。</p>	<p>排ガスの拡散のことについてであるが、現時点で建設予定地付近の気象状況のデータはなく、生活環境影響調査で1年間上空の風向きとか風力も含めて現状の測定をしっかりとっていく。その上でどの程度広がるのかといったシミュレーションをして、それをまとめた時点で皆様にはお示しさせていただきたいと考えている。</p>
21	2/12	<p>途中谷にある現在のごみ処理施設は今後どうするつもりなのか。</p>	<p>現環境センターは、リサイクル施設が供用しており、ごみの積み替えも行っている。これも予定になるが、新しい処理施設が令和11年度の稼働ということで目標にさせていただいているので、稼働後はその機能を新しい施設に引き継いで、適切な時期に解体、撤去ということになると考えている。</p>
22	2/12	<p>現環境センターの場所で農作物はできるのか。安全性のある農作物を作れるのか。</p>	<p>現施設でも周辺の地域の方が農作物や米を作っておられる。全国では焼却場だけでなく、埋立処分場の跡地で、市民農園をされている、そういった例もある。</p>
23	2/12	<p>地元住民はできるのが嫌やという感情、それを取り除くことは無理である。</p>	<p>アンケート調査の具体的な意見等を踏まえて、反対とおっしゃってる部分がどこに心配の部分があるのか、どこに心配されているのか、搬入路もそうであるし、その辺りを今日いただいた意見も踏まえて、解消に向けて取り組ませてもらいたいというのが市のスタンスである。</p>